**珠算能力検定1・2・3級試験受験者への注意**

1. **試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。**
2. **受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。**
3. **受験するときに持参するもの。**

(1)　受験票

(2)　筆記用具

(3)　そろばん

(4)　氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。

1. **答案記入上の注意**

(1)　答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。

(2)　答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「，」を付けること。

(3)　無名数の答は、次の例のように書くこと。

　　　　（例）*0.25　1,427.39　2,905,406*

(4)　端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

|  |
| --- |
| 　　 （例）小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。　　　　そろばん面　　　　　　答　　　　*0.4595* ………*0.460　　0.46*　　　　*5.2004* ………*5.200　5.2*（*5.20*とは書かないこと。） |

(5)　端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

|  |
| --- |
| 　　　　そろばん面　　　　*0.45* ………*0.45　.45*（*0.450*又は*.450*とは書かないこと。）　　　　*5.2*…………*5.2*（*5.20*又は*5.200*とは書かないこと。） |

(6)　名数の答は、次の例のように書くこと。

|  |
| --- |
| 　　　 （例）　*￥9,528　￥9,528.　￥9,528-　9,528*　 （*￥9,528.0 ￥9,528￥ ￥9,528円　9,528￥*のような書き方はしないこと。） |

　　　 〔注〕　答の頭には、円の記号（*￥*）を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。

(7)　答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。

(8)　答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

(9)　答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は（　）で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。

(10)　答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。

(11)　コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。

1. **その他の注意**

(1)　計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。

(2)　計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。

(3)　アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。

(4)　受験票を紛失したり忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。

(5)　携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。